

# おうみネット

2016

# 98

Summer

Ohmi Net | ●発行日 / 2016年7月1日 ●発行所 / 公益財団法人 淡海文化振興財団

## ① 特集『地域防災力』

～今、見直すべきわたしたちの備えとは～

## ⑤ おうみの市民と企業が **ともに Grow**

県内の障がい者の継続就労の基盤をつくる

Grow 01

### 障がい者支援

認定 NPO 法人  
アンビシャス

全国から届いた青春の 21 文字を電車に乗せて



Grow 03

### まちづくり

石坂線 21 駅の  
顔づくりグループ

リタイア後の活動で、地域を元気に

Grow 02

### 地域貢献

特定非営利活動法人  
日野ダリア園

社会貢献する「世間よし」企業紹介  
セブン・イレブン・ジャパンと  
協定締結 7 周年記念事業  
記者発表会

Grow 04

### 世間よし

株式会社  
セブン・イレブン・  
ジャパン

# Grow

# 地域防

～今、見直すべきわたしたちの備えとは～

# 災 力

4月14日に熊本・大分で発生した地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

今、私たちはいつ発生するかわからない災害に対し日々訓練し、それぞれに備えていると思います。しかし、いざその時に本当にできることは何か？本当に必要なものは何か？を時に振り返り、見直すことも大切です。

そして私たちが今必要とされている地域防災力とは…

自らの命は自らが守ること、近隣で互いに助け合って地域を守ること、行政をはじめ警察・消防・ライフラインを支える各社による応急・復旧対策。災害時には、自助・共助・公助が互いに連携し一体となることで、被害を最小限にできるとともに、早期の復旧・復興につながります。本当に備えておくべきものは何なのか、様々な視点から地域防災力について考えていきます。

## Part 1

### 災害時に必要となる「受援力」

大規模災害時には、多種多様な立場の支援者が被災地に駆けつけ、被災地の復旧・復興に大きな役割を果たしています。「受援力」とは被災地が支援を受ける力のことで、支援者が力を発揮するため環境が整っていることが重要です。災害ボランティア活動においても、多様な活動が生かされる環境や知恵が地域にあることで復旧・復興が進んでいきやすいといわれています。今回は、災害時の「受援力」について、滋賀県社会福祉協議会の高橋課長にお話を伺いました。

#### 滋賀県社会福祉協議会の災害支援活動について

大規模災害発生時には、災害ボランティア活動支援と要配慮者支援の二つの役割が期待されています。県社会福祉協議会では、地域防災計画において、県の指定公共機関として「①災害ボランティア活動の支援」と「②要配慮者に避難支援への協力」が業務として明

記されているため、平成二十五年より、常設型の滋賀県災害ボランティアセンターを設置するなかで、滋賀県災害時要配慮者支援ネットワーク会議を設立し、平常時から関係者とともに災害時のボランティア活動と要配慮者支援対策を推進しています。

#### 災害ボランティア活動の強みとは

被災地において、生活(地域)の復旧・復興に向けた自主性に基づく活動を「災害ボランティア活動」と言います。阪神・淡路大震災以降、大規模災害時には、被災者(地)を支援したいと願う多くのボランティアが全国から駆けつけ、もはや災害救援にボランティアは不可欠な存在になったといえます。

全国各地で起きる災害の被災地やボランティア活動支援を行っているなかで、ボランティアにかけつけても、受け入れる側にそのような想定がない、あるいは遠慮して人の力を借りたがらないことを

## 県内の取り組み① あずま自主防災会

### 地域防災活動はまちづくり

大規模災害時に区民を守ることできる組織を作ろうと、当時の区長から消防団のOB等に声をかけられたことがきっかけで平成十七年に設立しました。組織内を六つの班にわけ細やかな訓練をし、活動に対しての振り返りを必ず行い課題を明確にして活動をしています。

近年防災意識が高くなってきていて区民避難訓練には女性や子どももの参加が増え、地域のつながりができ、緊急時に大きく役立ちます。子ども達も一緒に参加して防災教育に繋げ、顔を覚え、地域で子育てをするのも狙いの一つでもあります。

特徴的な取り組みとして、民生委員や福祉推進員と協力して、自力で避難することが困難な方や一人暮らしの高齢者に対し、同意式の避難行動要支援者名簿を作成し、緊急時の連絡先やかかりつけ病院などの情報を防災関係者に開示することができ、いざという時に役立つようにしてあります。まさに防災を通じて地域福祉を担っています。また、今までの様々な経験から「自助」に振り返り、自分のことは自分で



▲課題を抽出し災害図上訓練の様子

解決できる力を養うことで自立した地域となるような見直しもしています。防災を切り口として、人と人のつなが





しばしば見受けられます。また、避難所生活をしているとテレビや新聞等の情報が入ってこないため、自分たちの地域がどれほどの被害にあっているかを把握できておらず自分たちだけの力で何とかなると思っていることが意外と多かったりもします。その結果、助けを求めない地域や人、地域との関係が希薄な人は復旧・復興が遅れたり、支援から漏れてしまうこともあります。こうした状況が多く見られることから、地域外のボランティアが、支援の遅れや漏れを発見できることが多くあります。

「受援力」を高めるために

「助ける」ことができて「助けられる」ことは、慣れていなかったり、

あまり好きではない人が多くいます。

大規模災害時に災害ボランティアが力を発揮するためには、地域においてボランティアを受け入れる「風土」「仕組み」「訓練」が大切で、受援力を高める三つのキーワードとも言えます。

受け入れることに違和感のない「風土」があり、ボランティアとともに復旧・復興をしていく「仕組み」や体制があり、その仕組みのもとで「訓練」を行うことが大事です。

もちろん、顔も名前も知らない

Essay. I  
市民活動をサポート！

つながる・ひろがる・  
支えあう

たかしま市民協働交流センターは、市民と行政が「市民協働のまちづくり推進指針」を検討し、6つの旧町村の地縁組織や市民活動団体をつなぎ、市民と行政をつなぐ役割を持つセンターとして、2009年に公設民営で設立されました。

市民活動や地域貢献に積極的な事業所などを紹介する情報誌「おむすび・たかしま」は市民と市民の活動を情報でつなぐツールです。秋の「たかしま市民活動フェスタ」は市民活動団体同士のつながりづくりと市民への市民活動紹介を目的に開催しています。地域の魅力や課題について話しあう「たかしま・未来・円卓会議」は、市民が主体的に地域について考え、つながり、ともに動き出す場を目指しています。市民活動団体の相談内容から企画する会計や広報などの講座でも、団体の出会いとつながりを意識して組み立てています。

市民と組織と行政の「おむすび」役をめざして日々活動しています。



たかしま市民協働交流センター  
事務局長

坂下 靖子(さかした やすこ)さん

「助けられ上手」が災害にも  
強いまちをつくる

日頃からの人と人のつながりや助け合いを深めることが大規模災害の被害を最小限に食い止めることが出来ると被災された皆さんか

次ページへ

人がやってくるわけですから不安はあって当然です。だからこそ平常時から、住民、行政、社協、福祉施設などが、災害ボランティア活動の力を正しく理解し、受け入れることを普通のこととして認識しておくことが大切なのです。



▲避難訓練の様子

りを深くし、自分たちの地域をより良くしていきたい、地域のつながりこそが地域レベルを上げていきます。地域レベルの向上は防災力の向上につながると考えています。  
いい塩梅のつながりを大切にしながら地域力、解決する力を養っていきましょう。日々活動しています。

DATA  
あずま自主防災会

事務局長：中島仁史(なかじま ひとし)  
連絡先：甲賀市土山町北土山526  
TEL：(携帯)090-6969-3108

Part2

「滋賀県危機管理センター」

ら発信され、その認識も少しずつ広がってきています。しかしながら、大規模災害という悲惨な事態では、地域での助け合いも限界があります。「受援力」という言葉で

は難しく聞こえるかもしれませんが、「助けられ上手」になるということではないでしょうか？困った時は「お互い様」の精神をみんなが持つことで、地域の防災力を高め、

台風による豪雨災害や感染症、テロ、あるいは滋賀県内やその付近で懸念されている、琵琶湖西岸断層などによる直下型地震や南海トラフ巨大地震に原子力災害。このように多様な災害が想定される中、県庁舎が被災した場合にも機能する場として、今年一月十五日開所した滋賀県庁本館隣の県施設「滋賀県危機管理センター」を紹介します。

危機管理センターは、地震や台風・豪雨による災害、テロ、新型インフルエンザなど、県民のみならずのくらしを脅かすような事案が発生したときに、自衛隊や警察、消防、DMAT(災害派遣医療チーム)、災害ボランティアセンターなどの防災関係機関が集結して、すばやく、的確な対応を行う「危機管理の拠点」となります。

日頃は、関係機関・団体への研

修会のほか、県民のみならず自主防災組織のメンバーを対象にした研修会を実施して地域防災力を高めたり、防災関係団体などが集まって情報交換を行うためのスペースもあります。開館時間は平日九時から十七時で、各会議室の貸し出しも行っていきます。一階エントランスロビーの展示は、年末年始以外は毎日見学できます。十人以上の団体には無料講

日頃の安心・安全なまちづくりにもなっていくのではないかと思います。



座も実施しています。希望日の二十日前までに電話で予約を受け付けています。

この機会に新しくなったセンターで防災について学んでみるのも、自分たちの防災力の新たな発見につながるでしょう。

県内の取り組み②

たかしま災害支援ボランティアネットワーク なまず

生活防災。命を守るために今できること

私たち「なまず」は結成から十五年、私たち一人ひとりができる防災、「備えと構えで減災目指す」をテーマに様々な知識を身につけてきました。老若男女だれにでも「あつー」と気付けてもらうために、漫才・クイズ・腹話術・大型ホール紙芝居、歌を歌う参加型の出前講座を行っています。

いつ発生するかわからない災害に對して私たちができること、それが生活防災なのです。いつもの暮らしそのものが防災・減災につながることを常に考えて生活することが何より大事です。普段の生活の中で、命を守る空間作りをしておくこと、災害が起こったときにはまず冷静になること、それらが防災・減災へとつながる一歩だと考えています。



▲防災について学ぶ子ども達

そして十五年間私たちが培ってきたこの知識を、琵琶湖周辺での大地震や南海トラフの巨大地震発生時にどうすれば命を守るか、減災学習、避難所生活を体験する「減災アクションクラブ」を企画し、命に向き合う活動への参加を呼び掛けています。避難生活に必要なことは、「どこでも寝られる」「何でも食べられる」「どこでも排泄ができる」ことです。それらを年間通して子どもたちと一緒に体験していきます。

防災活動は、地域防災力を高めるとともに、まちづくりも担っています。人とのつながりの中で各自一人ひとりが意識と知識を高め、備えておくことが大事です。自分たちの町の防災活動とともに、日頃から助け合いを深めることが大切だということを再認識しました。今回の取材を通じて、普段の生活を見直すところが増え、防災につながるのだと改めて感じました。

まとめ

Essay. II

おうみ未来塾リレーエッセイ

白鳥川の美しい自然と街づくり

8期生 吉田 栄治(よしだ えいじ)  
グループ：中山道410

平成18年2月に「白鳥川の景観を良くする会」を20名程で発足、現在は約60名の会員で11年目の活動をスタートしています。「白鳥川」は近江八幡市の中央を流れ、琵琶湖に注ぎ込む1級河川でもあり、生活環境や自然景観、生産農業の面でも重要で大切な川です。

①定例活動として年間20数回、白鳥川のJR線から琵琶湖岸付近までの約5km間、除草作業とポイ捨てや不法投棄のごみ回収、また5kmの「桜並木づくり」活動などに傾注。また②事業活動として、地元小学校の子ども達と一緒に「桜ぼんぼり」を作り、桜並木に設置し約1kmの区間に点灯して桜シーズンを盛り上げます。4月中旬には市民寄贈の鯉のぼりを上げ、春と秋には小学生の環境学習支援をしています。

上記の①②を通し、美しい自然、心豊かな街づくり、メンバー同士の3づくり(健康、生きがい、仲間)の一助になっているのでは…と思います。今後ともメンバーと協力し元気で頑張っていきたいと思っています。



機能概要

災害対策本部機能

災害対策室

警察、自衛隊、緊急消防援助隊等関係機関の活動拠点として、必要な部屋数と面積を確保。可動間仕切りで部屋数・面積を臨機応変に調整可能です。



オペレーションルーム

200名を収容でき、県職員や防災関係者が一堂に会して、初動対策班・関係機関による情報収集・対策の立案をします。県内の定点カメラの映像などを同時に写し出せる大型スクリーンもあります。



災害対策本部室

本部員、関係機関等が参集し、総合的な対策方針等について協議し、決定するための部屋です。



プレスセンター

記者発表の場。報道機関の控室。



DATA

滋賀県防災危機管理局(滋賀県危機管理センター4階)  
〒520-8577滋賀県大津市京町四丁目1-1  
TEL : 077-528-3438 (展示) 077-528-3430 (会議室利用)  
FAX : 077-528-6037  
<http://www.pref.shiga.lg.jp/c/shobo/kikikanri-center/kikikanricenter-top.html>

防災とは、特別な何かを用意したり訓練することだけではなく、普段の生活スタイルこそがベースになります。いざという時「生命」を失わない為に、過去の災害に学び、教訓を生かし、生活防災が定着することが「減災」につながると思います。考え、普及活動をしてい

DATA

たかしま災害支援ボランティアネットワーク なます

代表：太田直子(おた なおこ)  
連絡先：〒520-1533  
高島市新旭町安井川240-12  
TEL/FAX : 0740-25-5095  
URL : <http://www.takashima-namazu.net>



▲紙芝居などの教材作り



# ともに Grow

県内で活躍するNPOや  
社会貢献企業を  
レポート!

## Grow 01 市民 ● 障がい者支援

2016年おうみNPO活動基金助成採択団体

### 認定NPO法人 アンビシャス



▲バッグの縫製作業

認定NPO法人アンビシャス  
代表●松岡 幸子(まつおか さちこ)  
設立●2004年  
会員●25名  
連絡先●京都市中京区西ノ京内畑町26  
TEL: 090-9046-5160  
FAX: 075-841-3897  
URL: <http://npo-ambitious.com/>

## 生きがい・やりがい・誇りを持てる 地域づくりに貢献したい

本拠を京都に置き、ドッグセラピー事業などを  
通じて、ひとと動物が共生するやさしい社会の実  
現を目指す認定NPO法人アンビシャス。滋賀県  
守山市にある障がい者福祉サービス事業所、びわ  
こみみの里(以下、みみの里)で活動中の同法人  
理事長の松岡さんと会員の皆さんを訪問しました。  
みみの里は、主に聴覚に障がいのある人たちが、犬  
のトリミング、ドッグカフェ運営、縫製品の製造販  
売などの仕事をしています。

二〇〇七年に発足したみみの里とアンビシャス  
の関わりは、みみの里設立前から始まり、すでに十  
数年になります。会員の持つ高度な専門知識や技  
能で、みみの里の依頼により、今日まで様々な支援  
を継続的に行ってきました。技術支援だけでなく、  
商品企画・開発、製造、販売までの全面的支援もし  
ています。理事長の松岡さんたちは週二回の守山  
通いを続け、根気よくしかもボランティアで支援  
を続けてきました。そうして、聴覚障がい者を支援



▲世界にひとつだけのバッグ

し、栗東や美浦のトレーニンングセンターで調教時  
につける競走馬のゼッケンを再利用した『ste  
edブランドバッグ』では、トータルマーケティング  
を担い大きな成果をあげています。

「県内の障がい者の継続就労の基盤づくり、専門  
的技術の習得、生活基盤の確立、障がい者が生きが  
い・やりがい・誇りを持って暮らせる地域づくりに  
貢献したい」と松岡さんは話していました。  
(淡海ネットワークセンター 歌代・佐藤)

する当事者団体と  
しては、全国初とな  
る聴導犬育成団体  
認定を取得し、聴  
覚障がい者のトリ  
ミング技能者が初  
めて誕生しました。  
みみの里を含め県  
内五事業所と連携

## リタイア後の活動で、 手作りの四季折々の花を楽しむ花の郷



▲甘い香りがただようイチゴハウス

「自分達で花を育てて楽し  
もう、ただ自分達で楽しむだ  
けでは勿体ない、地域の発展  
に繋がれば」、仕事をリタイ  
アした昭和十六年生まれの  
同志が集まり出した答えが  
特定非営利活動法人日野ダ  
リア園の活動のきっかけと  
なりました。活動を開始して  
十六年、二〇〇六年には法人

格を取得しました。日野町鎌  
掛地区は、昔から石南花で有  
名ですが、なぜダリアを育て  
られたのかをお聞きすると、  
「ダリアは花の咲いている期  
間が長いので選んだものの、  
育てるには手間がかかる品  
種で大変です。」と言われま  
す。

取材に伺った五月初旬、約

## 石坂線21駅「点から線へ、線から面へ」 のまちづくり



▲京阪電車のラッピングカー

みなさんにとって、電車、  
とはどのような存在です  
か?

「電車って助手席よりくっ  
つける」

この文字を見て、甘ずっ  
ぱい初恋・青春を思い描い  
た方も少なくないでしょ  
う。京阪電車石坂線は素敵  
な二十一文字のメッセージを

のせて走っています。

駅は自分の家の玄関・コ  
ミュニティの拠点、「点」と  
とらえ、石坂線を中心とし  
たまちづくり活動が始まりま  
した。石坂線の最寄の駅の多  
くに学校があることに着目  
し、掲示板や花壇を設置。そ  
うした「点」をつなぐ活動と  
して、二〇〇六年に「石坂線

## 社会貢献する「世間よし」企業紹介

### 株式会社 セブン・イレブン・ジャパン

住 所：〒604-8162 京都市中京区烏丸通六角下ル七観音町630  
 TEL：075-231-7715 FAX：075-231-7751  
 URL：http://www.sej.co.jp/

## セブン・イレブンは「びわ湖の日」を応援します

行政と連携し地域の課題解決に取り組む(株)セブン・イレブン・ジャパンとの地域活性化包括連携協定をもとに発売した商品の数は滋賀県が全国で1位を誇ります。「びわ湖の日」を応援して下さっている(株)セブン・イレブン・ジャパンの遠藤さんにお話を伺いました。

2008年に滋賀県と締結された地域活性化包括連携協定は昨年7周年を迎え、さらに全国に先駆けて取り組んでいます。今年の2月、認知症サポーター養成講座をスタッフが受講しつつ、各店舗やその周辺において高齢者の徘徊などの異変に気付いた時に、声掛けや行政機関・警察に通報する協定を締結。琵琶湖の学習船うみのこの新船建造決定記念として、うみのこ



▲7周年記念商品発表の様子

レーを期間限定で発売しました。また、個人宅・事業所への配食サービス(※一部店舗)も積極的に取り組んでいます。そして今年、開館20周年を迎える草津市の滋賀県立琵琶湖博物館のリニューアルに伴い、地元の「愛彩菜」(わさび菜)を使ったおにぎりを7月1日「びわ湖の日」に合わせて期間限定で発売するなど地産地消の商品を数多く商品化しています。

遠藤さんは「この事業展開には滋賀県の協力なしには達成できていなかった。熱い想いと人と人のつながりのおかげ」、また滋賀県の担当者は「食べることで琵琶湖のことを考えて頂ける機会になるので非常にありがたい」と話してください。▲「愛彩菜」を使ったおにぎり



人と人のつながりを大切に地域の課題に積極的に向き合い、心までもが近くて便利なセブン・イレブンになっていると感じました。

(淡海ネットワークセンター 佐藤 弥絵美)

※1996年(平成8年)7月に施行された滋賀県環境基本条例で、環境の保全に関する活動への参加意欲を高めるため、7月1日を「びわ湖の日」と定めています。

## 特定非営利活動法人 日野ダリア園

代表●野崎 清一(のざき せいいち)  
 設立●2006年  
 会員●20名  
 連絡先●蒲生郡日野町大字鎌掛2198番地1  
 TEL：0748-52-5651  
 FAX：0748-53-0008  
 URL：http://hinodariaen.com/



▲駐車場から望むダリア園への入口

一万㎡の休耕田の借地には、牡丹、芍薬の花が咲き乱れ、クレマチスもアーチ状の門に紫や白の花々を咲かせて、温室は滋賀県の指導を受けて栽培を始めたイチゴの甘い香りで一杯、イチゴ狩りの人で賑わっていました。日頃の旅行会社などへの営業活動が功を奏し、多い時には大阪、和歌山、愛知県など県外からもバスを連ね、来場者は一日に千七百名ほどにものぼります。

この園で働いているスタッフはすべてボランティアで、繁忙期には一日に八名ほどで来場者の対応にあたります。開園以来ずっとこのボランティアが続いてきた秘訣を伺うと、「欲が出てきてもっと見て欲しい、楽しんでほしい、そしていろんな出会いがある」と言われます。今の課題は、ホームページなどを専門家に委託していますが、いろんな活動分野でボランティアに来てほしいという事です。

(おうみネットサポーター 日下部 純子)

## Grow 03 市民 ● まちづくり

### 石坂線21駅の顔づくりグループ

代表●福井 美知子(ふくい みちこ)  
 設立●2003年  
 会員●12名  
 連絡先●大津市際川3丁目36-10  
 TEL/FAX：077-524-6875  
 URL：http://ishizaka21kao.jp/



▲10年間発行してきた作品集

文化祭号(14・1 km 日本が一番細長い美術館)を開催し、沿線の学校や住民の交流の場となりました。そして「電車と青春21文字のメッセージ」事業を二〇〇六年に実施。電車にまつわるメッセージの公募を開始し、優秀作品はラッピング電車として、大津のまちを駆け抜けます。最優秀賞は「石坂洋次郎青春賞」とし、審査員にはなんと俵万智さん―素敵な講評で、胸が当たたかくなります。一点から線へ、線から面へ」のまちづくり、ワクワクする気持ちでいっぱいです。メッセージは

日本全国、老若男女五千通以上もの応募があり、沿線の学校では授業に取り入れれたり、NHKのドラマ化など、様々な方面にも広がりがつつある活動となっています。メッセージ事業も十年目の記念事業を終えました。転機の年となり、これからの可能性を模索中です。石坂線21駅の顔づくりについて、多様なアイデア・意見・応援等をお待ちしております。皆さんで協力し、石坂線と一緒に盛り上げていけると、素敵ですね。

(おうみネットサポーター 坂口 紗姫)



**講座** NPO事務力講座&NPO法人事務力検定(初級)を開催!

**[NPO事務力講座]**

◇日程

①NPO基礎・所轄庁・法務局

9月11日(日) 13:30～15:30

②会計

10月9日(日) 13:30～15:30

※講座後に交流会を開催(参加無料)

③労務

11月13日(日) 13:30～15:30

◇会場: ぷらっとルーム

◇定員: 各10名

◇参加費: 1講座のみ: 1,000円/名  
全講座: 2,000円/名

※一部欠席された場合でも返金は致しかねます

**[NPO法人事務力検定]**

◇開催日時: 12月18日(日) 10:00～11:50

◇会場: 滋賀県立県民交流センター  
202会議室

◇定員: 15名 ◇参加費: 1,000円/名

※詳細は当センターブログにてご確認ください。

**募集** 賛助会員を募集しています

淡海ネットワークセンター(公益財団法人)

人 淡海文化振興財団)では、当センターの目的に賛同し、事業運営にご協力いただける「賛助会員」を募集しています。年会費は個人1口3,000円、法人1口10,000円です。

2016年6月13日現在、41名の個人・企業の方から申込をいただきました。

**◇寄付に対する税制優遇措置**

当財団への寄付は、税制優遇(寄付金控除/損益算入)の対象となります。

※詳細は当センターHPをご覧ください。

**募集** 2016年度未来ファンドおうみクラウドファンディング活用基金助成事業の募集案内!

クラウドファンディング活用基金助成事業とは、NPOの継続的な事業実施に必要な施設整備資金(ハード事業と一体となる初期備品等も含む。)の調達をクラウドファンディングで行い、クラウドファンディングの調達額に応じて助成金を交付する助成事業です。

詳しくは、淡海ネットワークセンターのホームページに掲載しています募集要項をご覧ください。

なお、当助成事業の応募受付締め切りは、2016年7月30日(土) 17:00必着です。皆さまのご応募をお待ちしています。

**編集後記**

5月三連休の好天に恵まれた日、取材にお邪魔しました。なだらかな丘陵に造られた園は、見ごろを迎えた花々で一杯。イチゴハウスは、甘〜いイチゴの香り一杯でした。来年は絶対イチゴ狩り! 甘い香りを思い出しながら帰路につきました。(おうみネットサポーター 日下部 純子)

久しぶりの取材でドキドキしました! とても素敵なお話を聞くことができ、「電車と青春」について、考えることが多くなりました。公募作品の21文字メッセージのようなあまづっぱい初恋は経験したことありませんが(笑)、作品が載った本をひらくたび、キュンキュンしました。電車って素晴らしい空間だなと改めて再認識しました!

(おうみネットサポーター 坂口 紗姫)

●情報交流誌「おうみネット」は登録いただいている県内外の団体・個人のほか、次のところに配布しています。(50音順)

関西アーバン銀行、京都信用金庫、県内公民館、県内公立施設、県内市民活動支援センター、県内社会福祉協議会、県内市役所・役場、県内図書館、県内中学校・高校・大学、滋賀銀行、滋賀県信用組合、滋賀県庁、生活協同組合コープしが、他

おうみネット 98

●2016 夏号●



Ohmi Network Center  
淡海ネットワークセンター  
公益財団法人 淡海文化振興財団

淡海ネットワークセンターは、県内の市民活動、NPOをサポート・ネットワークしています。

■〒520-0801 大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2階

■TEL 077-524-8440 ■FAX 077-524-8442

■http://www.ohmi-net.com

■E-mail:office@ohmi-net.com

■開館時間 / 9:00 ~ 17:00

■開館日 / 市民活動ぷらっとルーム: 火~土曜日(火~金曜日の祝日は休館)

事務所: 火~日曜日

市民活動・人・企業との出会い広がる情報交流誌「おうみネット」掲載広告募集中!

- ★発行部数10,000部
- ★県内外の配布先約2,000カ所
- ★1枠(横9.3cm×縦3.5cm)15,000円

詳細は、当センターまでお問い合わせください!



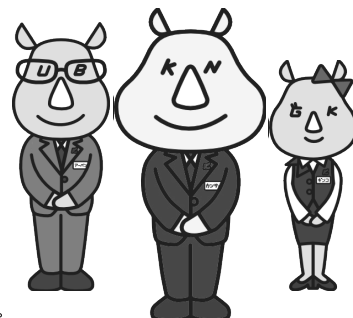
おたがいさまがつながり、活きる。

未来ファンド 個人の気持ち、企業のCSR  
おっみ 様々な“志”を地域に支える市民活動へ、しっかりつながります。

寄付をお考えの方、詳しい内容を知りたい方は、淡海ネットワークセンターにお気軽にお問い合わせください。

なんでも相談してください。

関西アーバン銀行は、淡海ネットワークセンターの「びわこ市民活動応援基金」を通じて、滋賀県のボランティアの皆さんや市民活動を応援しています。



三井住友銀行グループ  
関西アーバン銀行

(平成28年7月1日現在)



この印刷物は大豆油インキを包含した植物油インキを使用しています。